

オーダーメイド 着物リメイク



きもの伸裳



☎ 083-772-4311

営業時間：9:00-18:30 定休日：木曜日・第2日曜日
※他、夏季・年末年始など

〒759-6301 山口県下関市豊浦町大字川棚5125
川棚温泉街



下関市川棚温泉 きものお手入れ処
きもの伸裳公式ホームページ
<https://shinsyo.net/>

きもの伸裳 🔍



📷 リメイク実績掲載

着ないけど、捨てられない着物

お手元にごいませんか？

あなただけの「宝もの」に変える
お手伝いをします。

多くのお客様から「タンスに眠っている着物をどうすべきか悩んだまま、直しこんでいる」というお悩みをお聞きします。

「邪魔なもの」「役に立たないもの」「無くてよいもの」という着物に対する嫌悪感や価値観を変えたい。そんな思いから、私たちはリメイクによって着物に新たな命を吹き込み、素敵な宝ものに変化させます。

「あって良かった」「遺してくれてありがとう」という、先代に対する感謝の気持ちに変えませんか？

着物リメイクの流れ

ご相談

リメイクしたいお着物を当店までお持ちください。電話でのお問い合わせもお気軽にどうぞ。
※出張相談も可能（下関市、長門市、山陽小野田市、北九州市）

お見積り

リメイク見本を試着していただいたり、ご要望をお伺いし、お見積りをお出しします。

解き端縫い
洗い張り加工

京都の職人さんの手で長年のほこりや、生地のがみを整えます。
※しみ抜き、カビ落としはご相談ください（お見積り無料）

縫製・仕立て

リメイク品に合わせてそれぞれの職人さんが、長年の経験と高度な匠の技を駆使して、一点一点丁寧に仕立て上げます。

完成

最初に着物をお預かりしてから、約30日～40日後に納品させていただきます。



きもの伸裳

喪服リメイク

Mourning dress remake

かつては嫁入り道具として、また親族からの形見分けでお手元にある和装喪服。

なかなか出番がなく、お困りではないですか？
そんな喪服をフォーマルワンピースやスーツにリメイクいたします。

フォーマルリメイク後に残った布で家紋入りのバッグや数珠入れなども作れます。



ワンピースにリメイク

Remake to the one-piece dress



▲吉祥文様の訪問着をワンピースドレスに。袖の長さや着丈、襟の形はオーダーで仕上げます。



▲金彩加工の振袖をショート丈のワンピースドレスに仕立てました。振袖は生地がありますので、お好みに合わせて袖丈・身丈は調整が可能です。



◀吉祥文様に刺繍も施された華やかな綸子の振袖をロングタイプのワンピースドレスに。結婚式の参列やステージの衣裳などにおすすめです。

▶ちりめんの生地に茶屋辻模様の小紋をオフタートルのスーツ風ワンピースに。ちょっとしたお出かけやお友達とお食事、観劇などにも。



ベストにリメイク

Remake to the vest

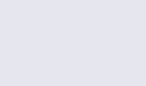
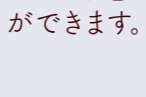
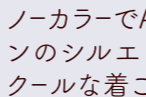
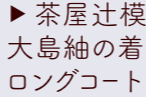
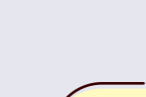
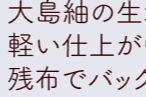
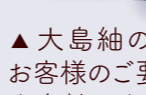


◀手織りの紬生地の着物をロングベストに。普段着としても着ることができます。ポケットが特徴で裾がフレアの女性らしいデザインです。

▶ちりめんの小花柄の道中着(着物の上に羽織るコート)をショート丈のベストに。色々なブラウスに合わせて、普段着として気軽に着られます。



リメイク前



▲大島紬の着物をロングベストに。お客様のご要望で裾とポケットを調整。大島紬の生地を活かした、しなやかで軽い仕上がりのロングベストです。残布でバッグとポーチもできました。

コートにリメイク

Remake to the coat



◀格子柄の紬の着物をロングコートに。バルーン型のデザインがお洒落です。衿や袖丈はオーダーで変更可能。

▶茶屋辻模様の大島紬の着物をロングコートに。ノーカラーでAラインのシルエット。クールな着こなしができます。



▲古代ちりめんの京友禅小紋をロングコートに。女性らしく可愛いギャザー衿とゆるやかな裾フレアが特徴的。



[名古屋帯から]



[袋帯から]



[紬着物から]

[染め帯から]



[緋着物から]



[大島紬着物から]



シャツジャケットにリメイク

Remake to the shirt jacket



▲結城紬の着物をシャツジャケットに。カジュアル着としてお気軽に着ていただけます。



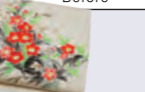
▲白大島紬の城柄の着物をシャツジャケットに。まるで着ていないような軽い着心地です。

のれんにリメイク

Remake to the shop curtain



リメイク前



◀塩瀬の名古屋帯を六連のれんに。帯は、細タペストリーへの加工も人気です。



▲生地の着物を三連のれんに仕上げました。元の着物にシミがあり洋服にするのが難しい場合などは、のれんにするのがおすすめです。

お客様の声



若い頃、柄がすごく気に入って買った着物。年齢と共に着る機会が減ってタンスに直したままに。洋服にリメイクできる事を知り、思い切ってロングコートにリメイクしました。娘が「いいね!」ってほめてくれました。



亡き母の着物をバッグや傘などの小物にリメイクして「形見分け」として親族に配りました。母が好きだった着物を捨てずにこのような形で遺せて良かったです。母への供養にもなります。



娘が嫁ぐときに揃えた喪服。娘から「和服は着ない」と言われてしまい、リメイクしてワンピースに。軽くて着心地が良いし長く着れそう!と娘もとても喜んでくれました。